平成29年度

事 業 報 告 書



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
山口県支部

Mission statement

日本赤十字社の使命

わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する
７つの基本原則にしたがって行動します。

人　道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、
　　苦痛の予防と軽減に努めます。
公　平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
中　立：すべての人の信頼を得て活動するため、
　　いっさいの争いに加わりません。
独　立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、
　　赤十字としての自主性を保ちます。
奉　仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
単　一：国内で唯一の赤十字社として、
　　すべての人に開かれた活動を進めます。
世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、
　　互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

目　　次

はじめに …… 1

1　災害救護体制の充実・強化 …… 2

2　健康・安全のための知識・技術の普及 …… 10

3　青少年赤十字活動 …… 13

4　国際活動 …… 18

5　赤十字奉仕団による活動 …… 20

6　赤十字思想の普及 …… 26

7　赤十字活動資金の確保 …… 30

8　医療事業 …… 32

9　看護師の養成 …… 37

10　血液事業 …… 37

11　評議員会及び監査等 …… 40

はじめに

平素より、日本赤十字社山口県支部・施設の活動に、格別のご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして、平成29年度につきましても、支部と施設が一体となって、人間のいのちと健康、尊厳を守るための赤十字事業の充実、発展に取り組むことができました。

まず、支部事業については、災害救護体制の充実・強化をはじめ、健康・安全のための知識・技術の普及、青少年赤十字や赤十字奉仕団活動、国際救援など各種事業を円滑に推進することができました。

これらの財源となる「活動資金」につきましては、地区・分区等関係者の皆様のご協力により、多くの個人、法人の皆様からご支援をいただくとともに、国内外の被災者のため、多くの義援金・救援金が寄せられたことに、心より感謝申し上げます。

次に、医療事業につきましては、医療機能の分化・連携、地域包括ケアシステムの構築など、医療・介護の制度改革に対応し、県民ニーズに応じた地域医療の充実や災害時における医療提供体制の強化に努めました。

また、血液事業につきましては、ブロック化による広域需給管理体制のもと、血液製剤の安定供給や献血者の確保に努めました。

なお、下関の献血ルームについては、平成29年12月末で閉所し、山口市の血液センターに移転・統合し、「やまぐち献血ルーム For you」として、平成30年３月20日にリニューアルオープンしました。

詳細については、別記のとおり事業ごとにまとめましたので、ご報告申し上げます。お気づきの点など、ご意見をいただければ幸いです。

今後とも、職員、奉仕団員の総力を結集して、未来に向かって赤十字の使命である人道支援を続けてまいりますので、皆様方の一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本赤十字社山口県支部

1　災害救護体制の充実・強化

災害救護は、日本赤十字社法に明示された赤十字の事業の中で最も重要なものです。山口県支部では、いつ起こるか分からない災害に備えて常備救護班を配備し、各施設に救護要員を登録して訓練や研修を行うとともに、必要な資器材を整備して体制の強化を図りました。

また、災害における被害を軽減・抑止するため、防災・減災の普及・啓発を進めるなど、災害マネジメントサイクル全体に対応できる体制を整えました。

（１）救護班の編成、救護要員の養成・訓練・研修の実施

①救護班と救護要員の登録・養成

災害発生後、直ちに医療救護活動ができるよう、山口及び小野田両赤十字病院の医師や看護師等で編成した常備救護班８個班を配備しました。また、各施設に救護要員を登録し、救護体制の強化に努めました。

【施設別救護班編成状況および救護要員の職種別登録者数（平成29年４月１日現在）】

区分／施設	常備救護班編成数	災害対策本部要員	救護班要員					血液供給要員	特殊救護要員	合計
			医師	看護師長	看護師	主事	薬剤師			
支部	－	11人	－	－	－	－	－	－	－	11人
山口赤十字病院	6個班	6人	12人	10人	238人	24人	2人	－	－	292人
小野田赤十字病院	2個班	3人	3人	4人	8人	12人	2人	－	－	32人
血液センター	－	7人	1人	－	21人	23人	－	10人	1人	63人
合計	8個班	27人	16人	14人	267人	59人	4人	10人	1人	398人

【救護班１個班の編成基準　※第１班には、薬剤師１名を加えて７名で編成します。】

医師（班長）	看護師長	看護師	主事（事務）	計
１名	１名	２名	２名	６名

②救護要員の訓練・研修

赤十字の使命である災害救護活動を迅速かつ的確に実施するため、計画的な救護訓練や研修会を通じて救護知識の習得と技術の向上を図りました。

【災害救護訓練】

訓練名	開催月日	主催	会場	参加者数
山口県総合防災訓練	５月28日	山口県・下関市	下関市長府扇町第1運動場	（職　員）12人 （ボランティア）13人
中四国DMAT実動訓練	10月 14～15日	中国地区DMAT連絡協議会	岡山済生会総合病院他	12人
救護員としての看護師研修総合演習	10月29日	日赤山口県支部	日赤山口県支部	27人
日本赤十字社山口県支部災害救護訓練	３月３日	日赤山口県支部	日赤山口県支部	（職　員）36人 （ボランティア）10人

【災害救護研修】

訓　練　名	開催月日	主　催	会　場	参加者数
救護員としての看護師研修	2月～10月	山口赤十字病院 小野田赤十字病院	山口赤十字病院 小野田赤十字病院 日赤山口県支部	19人 4人
救護員研修会（基礎）	4月23日	日赤岡山県支部	岡山赤十字病院	2人
全国赤十字救護班研修会	7月 1～3日	日本赤十字社	神戸赤十字病院	3人 スタッフ 3名
日赤災害医療コーディネート研修会	9月 15～16日	日本赤十字社	日本赤十字 看護大学	2人
こころのケア要員養成研修会	10月30日 11月28日	日赤山口県支部	日赤山口県支部 小野田赤十字病院	18人 5人
原子力災害対応基礎研修会	1月 24・25日	日赤島根県支部	松江赤十字病院	7名
全国赤十字救護班研修会	1月 27～29日	日本赤十字社	日赤本社	2名 スタッフ 候補1名
第5ブロック災対本部要員研修会	2月 22・23日	日赤愛媛県支部	日赤愛媛県支部	3名 スタッフ 2名

※第5ブロック（中・四国9県支部）



山口県総合防災訓練



日本赤十字社山口県支部災害救護訓練





救護員としての看護師研修

（2）救護装備の整備

①災害救護装備の更新及び整備

災害時等に迅速・的確に対応するために、毎年必要な救護装備の更新及び整備を行っています。今年度は、携帯用アマチュア無線機の購入、ドクターカー（救急車）や災害救護

車両（トラック）のバックモニターなどを整備しました。また、業務用無線の点検等を行い、いつ起こるか分からない災害に備えました。

【保有救護用資器材】

品　　目	支部	病院	血液センター	合計
医療セット	2セット	2セット		4セット
携帯用医療セット	1セット			1セット
パイプテント	17張	2張	2張	21張
ドラッシュテント	2張			2張
エアテント	1張			1張
担架	13台	3台		16台
折畳寝台	17台	12台		29台
発電機	2台			2台
蓄電池	2台			2台
投光器	1台			1台
折畳テーブル	4台			4台
折畳ホワイトボード	2台			2台
除染エアテント一式	1セット			1セット
防護マスク	12個			12個
防護服セット	12セット			12セット
除染済者セット	50セット			50セット
個人線量計	28個			28個
サーベイメーター	1個			1個
衛星携帯電話	5台		3台	8台
無線（150MHz）	18台	3台	16台	37台
無線（400MHz）	19台	3台		22台

【保有救護用車両】

車両種別	支部	山口病院	小野田病院	合計
救急車	2台	1台	1台	4台
災害救援車	7台		1台	8台
合計	9台	1台	2台	12台

②AEDの整備

人間の苦痛を予防・軽減するという「赤十字の使命」を達成することを目的に、各地区・分区の要請等により公共施設等へAEDの整備を行いました。

【AEDの整備台数】（単位：台）

年度	H19～23	H25	H26	H27	H28	H29	合計
新規台数	103	15	11	4	8	6	147
更新台数			27	26	17	14	84

（３）救援物資の備蓄・配布

赤十字では、災害等の発生に備えて救援物資を備蓄しており、本年度も火災等被災者へ配布しました。

【備蓄数】

	毛　　布	緊急セット	安眠セット	バスタオル	タオルケット
地　区　分　区	3,258 枚	503 個	402 個	1,356 枚	0 枚
山 口 県 支 部	1,090 枚	180 個	100 個	720 枚	300 枚
小野田赤十字病院	500 枚	1,020 個	95 個	0 枚	0 枚
合　　計	4,848 枚	1,703 個	597 個	2,076 枚	300 枚

【配布数】

	毛　　布	緊急セット	安眠セット	バスタオル
配　布　数	14 枚	10 個	12 個	9 枚



毛　布



緊急セット



安眠セット



バスタオル

（４）臨時救護

公的な式典、大会等に際して、参加される多くの人々の万が一に備えるために、救護員を派遣しました。

【主催者別実施内訳】

主催者等	回数／のべ日	主な行事名	主な派遣場所	のべ派遣人数
山口県	９回／12 日	防災体験学習、障害者技能競技大会他	沖縄県　熊本県 山口市　周南市	16 人
山口商工会議所	２回／３日	山口市ふるさとまつり	山口市	５人
山陽小野田市	２回／２日	焼野美夕フェスタ他	山陽小野田市	２人
山口県遺族連盟他	２回／２日	大慰霊祭	山口市	５人
山口青年会議所	１回／１日	青空天国	山口市	２人
山口県 社会福祉協議会	１回／１日	ねんりんピック	山口市	２人
下関市	１回／１日	ツールドしものせき	下関市	５人
山口県総合支援学校体育連盟	１回／１日	山口県総合支援学校体育大会	山口市	２人
山口県陸上協会	３回／３日	中国山口駅伝大会他	山口県内	５人
NHK 山口放送局	１回／２日	学校音楽コンクール	山口市	２人
山口県消防協会	１回／１日	消防操法大会	山口市	１人
エフエム山口	１回／１日	コスモアースコンシャス	下関市	１人
日赤山口県支部	３回／８日	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター、救急法競技大会	山口市	８人

【イベント種別実施内訳】

イベント種別	派遣回数	のべ派遣日数	のべ派遣人数
大会・式典	７回	８日	12 人
スポーツ大会等	13 回	13 日	24 人
祭り	４回	５日	８人
宿泊行事	４回	12 日	12 人
合計	28 回	38 日	56 人

（５）死亡者弔慰金

県内で災害等により死亡された方のご遺族に対して弔慰金を交付しました。

【死亡者弔慰金】

件　　数	交 付 金 額
16 件	320,000 円

（６）義援金の募集

災害等の発生に際し、日本赤十字社では被災者を支援するために、義援金を募集し、全額を被災地の義援金配分委員会へ送金しました。

義援金区分	件数	金額
東日本大震災義援金	115 件	2,137,989 円
平成 28 年熊本地震災害義援金	150 件	6,359,497 円
平成 29 年７月５日からの大雨災害義援金	152 件	27,631,179 円
平成 29 年台風第 18 号災害義援金	12 件	373,393 円
平成 29 年台風第 21 号災害義援金	8 件	170,647 円
平成 28 年新潟県糸魚川市大規模火災義援金	13 件	82,940 円
秋田県大雨災害義援金	9 件	440,119 円
合　計	459 件	37,195,764 円

【平成29年度末までの総合計】

義援金区分	件数	金額
東日本大震災義援金	2,478 件	1,434,763,305 円
平成 28 年熊本地震災害義援金	1,000 件	198,077,558 円

（７）防災・減災の普及・啓発

地域の防災力と県民の減災意識向上のため、広く県民を対象とした防災講習会を実施しました。今年度は、新たに災害時要支援者（身体障がい、聴覚障がい、認知症、子ども等）に対する支援についての講習の要請がありました。

①　赤十字防災セミナー

日本赤十字社が、全国的に展開している、災害への備え・災害エスノグラフィー・災害図上訓練・応急手当等の『赤十字防災セミナー』に対して、指導する講師を派遣しました。

②　地域における防災講習会・赤十字防災セミナーの実施

自治会・町内会、サークル等に対し、防災講話、避難所で役立つ知識と技術、炊き出し指導や持ち出しリュック作成など支部独自の講習に対して、指導する講師を派遣しました。

【開催団体別】

開催団体種別	回数
自治会	25 回
ボランティア団体等	11 回
小・中・高等学校	11 回
各種講座内の１つ	5 回
その他団体	6 回
合　計	58 回



けがの手当てや救命処置



持ち出しリュックづくり





避難所で役立つ技術（ロープワーク・毛布ガウンなど）



非常食炊き出し



大雨・地震ワークショップ

③地域奉仕団に対する防災講習会「赤十字防災・減災フォーラム」の実施

日本赤十字社が全国に展開している、災害エスノグラフィーや災害図上訓練、応急手当等の赤十字防災セミナーを実施しました。

平成29年度は、８奉仕団、計440人に対し行いました。



④防災教育の推進

ア　いのちを守る防災教育を推進する会

下関地方気象台と日本気象予報士会西部支部との３者で構成する「いのちを守る防災教育を推進する会」が県下の各学校で、自らのいのちを守る力を身につけ、防災意識の向上を図るセミナーを実施しました。

なお、防府市教育委員会の協力のもと、平成28年度から３か年計画で市内の小・中学校をモデル校として実施しています。



講習・セミナー名	小学校	中学校	高等学校
大雨ワークショップ （うちモデル校）	８校　351人 （６校　241人）	５校　160人 （４校　102人）	１校　50人
地震・津波ワークショップ	－	－	２校　70人

イ　青少年赤十字防災教育事業

日本赤十字社が気象庁の監修のもと、独自で開発した防災教育プログラム「まもるいのち　ひろめるぼうさい」を、学校教育の中で活用いただくため、県下の全小・中・高等学校に配布しました。そのほか、多様な防災講習を県下小・中・高等学校で行いました。

講習内容	実施時期	会　　場	対象・人数
AED、防災学習（非常食炊出し・ロープワーク）	８月18日	下関市立青年の家	西部地区高校生部員36人
救急法（けがの応急手当）	８月22日	宇部市総合福祉会館	南部地区高校生部員77人
防災学習（非常持出しリュック・避難所について）	８月26日	周南市立福川中学校	福川地区小・中学生83人
防災学習（防災ボランティアについて）	９月30日	山口県立華陵高等学校	東部地区高校生部員24人
防災学習（地震災害について）	10月５日	山口市立白石小学校	５年生 99人
防災講習（非常食炊き出し・避難所で役立つ知識）	11月29日	下関市立桜山小学校	保護者・地域住民20人
防災講習（地震災害について）	１月17日	萩市立育英小学校	１～３年生・保護者18人
防災講習（地震災害について）	１月25日	美祢市立豊田前小学校	全校児童・保護者・教職員 55名
防災講習（大雨災害・避難所で役立つ知識について）	３月８日	岩国市立周北小学校	全校児童・教職員14人
合　　計		15回	827人

⑤山口県生活改善実行グループ協議会とのタイアップ

下関市菊川地区において、地域における防災・減災の学習会を開催しました。

講習・セミナー名	実施時期	受講者数
第１回防災学習会	８月30日	20人
第２回防災学習会	11月22日	20人
	合　　計	40人

（会場）下関市菊川町七見公会堂



（８）赤十字防災ボランティアの養成



日本赤十字社山口県支部が実施する救護活動を支援し、地域防災に貢献できる人材を養成することを目的として、「赤十字防災ボランティア養成研修会」を開催し、47名の参加があり、全員が赤十字防災ボランティアに登録いただきました。

２　健康・安全のための知識・技術の普及

日本赤十字社では、「人間の苦痛を予防・軽減し、生命の尊厳を確保する」という赤十字の理念のもと、具体的な知識や技術として一般の人々に広めることを目的として、『いのちと健康を守る各種講習会』を開催しました。

《講習の種類と内容》

講習名	講習内容
救急法	心肺蘇生、AED の使い方、気道異物除去、急病・けがの手当（止血・包帯・固定）、搬送等
水上安全法	泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助および応急手当、海・河川・湖沼での事故防止等
幼児安全法	こどもに起こりやすい事故の予防と手当、こどもの病気と看病、こどもに対する心肺蘇生および AED の使い方等
健康生活支援講習	高齢者の健康と安全のために、地域における高齢者支援に役立つ知識と技術、日常生活の具体的な介護の知識と技術、災害が高齢者に及ぼす影響、気をつけたい病気や症状、知って役立つ知識や技術等
家庭あんま術	病気の予防や疲労回復などの健康増進を目的とした、家庭でできるあんま術の知識と技術



救急法



水上安全法





健康生活支援講習

《講習実施回数および受講者数の推移》

	平成28年度	平成29年度	前年対比
実施回数	450回	450回	100.0%
受講者数	15,057人	15,689人	104.2%

（1）各種講習の実施

区　　分	実施時期	実施回数	受講者数
救急法基礎講習	通　　年	21 回	331 人
救急法救急員養成講習	通　　年	14 回	220 人
救急法短期講習	通　　年	320 回	12,181 人
水上安全法救助員Ⅰ養成講習	6　　月	1 回	16 人
水上安全法救助員Ⅱ養成講習	7　　月	1 回	19 人
水上安全法短期講習	通　　年	44 回	1,746 人
幼児安全法支援員養成講習	5 月・9 月	2 回	18 人
幼児安全法短期講習	通　　年	23 回	620 人
健康生活支援員養成講習	6 月（2 回）・11 月	3 回	40 人
健康生活支援短期講習	通　　年	17 回	428 人
家庭あんま術講習	通　　年	4 回	70 人
	合　　計	450 回	15,689 人

（２）講習普及指導員の養成

各講習を普及推進していくために指導員を養成しています。

平成29年度は、地域包括ケアシステムの構築に貢献し、地域の高齢者の健康的な生活を支える地域活動の担い手を養成するため、健康生活支援講習の指導員の養成講習会を実施しました。

【講習別指導員内訳】

区　　分	人　　数	平成29年度養成人数
救急法指導員	178人	0人
水上安全法指導員Ⅰ	7人	0人
水上安全法指導員Ⅱ	19人	0人
幼児安全法指導員	79人	0人
健康生活支援講習指導員	32人	14人
合　　計	315人	14人

【健康生活支援講習指導員養成講習】

プログラム	日　　程
事前説明会・研修会	１月 21 日（日）
養成講習	2月3日（土）、４日（日）、10 日（土）、11 日（日）、12 日（月・振休）
新任指導員研修会	３月 17 日（土）、18 日（日）

（３）救急法競技大会の開催

ワールド・ファーストエイド・デー（世界救急法の日）の関連行事として、県民が日常生活における安全意識を高め、事故や災害時において相互に助け合い、行動できるようになることを目指して、救急法競技大会を開催しました。

日　時　平成29年９月９日（土）　12時00分～16時30分
会　場　山口南総合センター　参加者　106名（30チーム）
成　績

総合優勝	山口県鴻城高等学校Ａ

心肺蘇生の部		応急手当の部	
優　勝	山口県鴻城高等学校Ａ	優　勝	山口県鴻城高等学校Ａ
準優勝	たくみ美容室	準優勝	チームＦＩＴ
第３位	山口県鴻城高等学校Ｂ	第３位	山口県立宇部西高等学校









3　青少年赤十字活動

次世代を担う青少年が、赤十字精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、加盟校の拡大を進めるとともに、指導体制の充実やメンバーの増強と資質の向上に努めました。

（１）加盟校の拡大と活動の充実

①加盟校の拡大

市町での校長会等に職員が足を運び、加盟推進に努めました。

【市町校長会での青少年赤十字事業紹介】

校　長　会	日　時	会　場
岩国市、和木町小学校校長会	９月５日	岩国市教育センター
防府市小学校校長会	11 月７日	防府市立華城小学校

【加盟の状況】

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	増減	（参考）平成28年度JRC加盟率
幼稚園	16 園	16 園	－	
保育園	2 園	2 園	－	
小学校	65 校	68 校	＋３校	20.5％
中学校	28 校	28 校	－	16.7％
高等学校	39 校	39 校	－	48.1％
特別支援学校	1 校	1 校	－	6.7％
全　体	151 園・校	154 園・校	＋３校	22.9％

※加盟率は、山口県内の全学校数に占める加盟校の割合

②活動助成

県下の加盟校が青少年赤十字の実践目標「健康・安全、奉仕、国際理解・親善」及び態度目標「気づき、考え、実行する」に基づく学校単位で行う地域活動・研修等に対して、開催経費の一部助成を行いました。

【平成29年度の助成状況】

区　　分	助成件数	助 成 金 額
幼稚園・保育園	3 件	50,000 円
小　学　校	35 件	705,000 円
中　学　校	9 件	167,793 円
高 等 学 校	4 件	250,097 円
計	51 件	1,172,890 円

活動内容は、宿泊学習等のリーダー研修や地域清掃・環境美化活動等の奉仕活動、地域での交流活動等となります。
※活動する児童・生徒数により上限３万円までの金額

（２）指導体制の充実

県教育委員会や加盟園・校の指導者で組織する指導者協議会の支援を得て、今後の活動充実と活性化を図るための協議・研修を行いました。

また、日赤本社が主催する協議会・研究会に指導者を派遣しました。



会議・研修名	実施時期	会　　場	参加者数
山口県高等学校指導者協議会幹事会	5 月19日	パルトピア山口	15 人
山口県青少年赤十字高等学校指導者研修会	5 月19日	パルトピア山口	40 人
山口県青少年赤十字高等学校指導者協議会校長会	6 月 2 日	カリエンテ山口	40 人
山口県青少年赤十字幼保・小・中学校指導者協議会園長・校長会	6 月15日	山口県労福協会館	88 人
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6 月 29～30日	日本赤十字社本社	2 人
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	7 月 23～25日	国立オリンピック記念青少年総合センター	2 人
青少年赤十字中央講習会	11月 25～26日	日本赤十字社本社	2 人
青少年赤十字研究会	1 月 10～11日	日本赤十字社本社	1 人
山口県青少年赤十字指導者研修会	2 月20日	カリエンテ山口	60 人

（３）メンバーの育成と資質の向上

各学校や地域における青少年赤十字活動の中核となる児童・生徒のリーダー養成研修を行いました。また、高等学校では、県を４地区に分け、その地区ごとに企画される地区トレーニング・センターを実施しました。

【メンバー対象リーダー養成研修】

研修名	実施時期	会　　場	参加者数
高等学校中部地区リーダーシップ・トレーニング・センター	6月10日	中村女子高等学校	中部地区 メンバー63人
高等学校南部地区リーダーシップ・トレーニング・センター	8月3日	宇部市 総合福祉会館	南部地区 メンバー60名
高等学校東部地区リーダーシップ・トレーニング・センター	8月5日	下松市 地域交流センター	東部地区 メンバー61名
高等学校西部地区リーダーシップ・トレーニング・センター	8月 17～18日	下関市立青年の家	西部地区 メンバー36名
小学校リーダーシップ・トレーニング・センター	8月 1～3日	国立山口徳地 青少年自然の家	メンバー26人 指導者15人
中学校リーダーシップ・トレーニング・センター	8月 7～9日	山口県十種ヶ峰 青少年自然の家	台風5号接近のため中止
高等学校リーダーシップ・トレーニング・センター	8月 9～12日	山口県十種ヶ峰 青少年自然の家	メンバー9人 指導者11人
青少年赤十字スタディー・センター	3月 22～26日	山梨県　東照館	高校生メンバー2人 指導者1人
合　　計		8回	284人



小学校リーダーシップ・トレーニング・センター



高等学校リーダーシップ・トレーニング・センター

（4）高等学校メンバーの活動

高等学校では、県下加盟校全体で組織する協議会を中心に活動の企画・協議が行われています。今年度の全体テーマは「3K, Thank You！（気づき　考え　行動する）」とし、学校単位だけでなく、同じ地区内の学校同士が合同で学校の枠を超えた交流学習・活動を行いました。

活動内容	実施時期	会　　場	対象・人数
世界赤十字デー県下一斉ボランタリー・サービス （清掃、環境美化、福祉施設訪問活動）	5月8日を中心とした時期	県下加盟高校校区等	高校生徒 ・指導者 36校　875人
山口県高等学校青少年赤十字学習交流会	8月19日	パルトピア山口	高校生徒 ・指導者 54人

山口県高等学校青少年赤十字協議会総会	9月16日	カリエンテ山口	高校生徒・指導者92人



山口県高等学校青少年赤十字学習交流会



山口県高等学校青少年赤十字協議会総会

（５）国際交流事業

国際理解・親善を実践する活動の一つとして、大韓赤十字社蔚山広域市支社との間で、平成28年度から４ヵ年計画で青少年赤十字メンバーの相互交流事業を実施しています。

平成29年度は、小学生を対象にお互いの国の文化や歴史を学び、生活を体験しながら友情を育み、お互いの青少年赤十字活動について情報交換をしました。

【平成29年度の交流内容】

○受入：小学生６人、引率者３人（指導教師１人・支社職員２人）、４泊５日

（期間）平成29年８月１日～５日

8/ 1　来日（福岡空港着）、下関市・山口市内観光、歓迎セレモニー

8/ 2　小学校リーダーシップ・トレーニング・センター（～３日）

8/ 3　大内塗箸作り体験、山口県教育長表敬訪問、美祢市観光

8/ 4　ホームビジット

8/ 5　帰国（福岡空港発）



山口県教育委員会教育長表敬訪問



小学校リーダーシップ・トレーニング・センター

○派遣：小学生５人、引率者４人（指導教師３人・支部職員１人）、４泊５日

（期間）８月９日～13日

8/ 9　出発（福岡空港発）

8/10　RCY仲良しキャンプ、蔚山支社での交流プログラム

8/11　RCY仲良しキャンプ、蔚山支社での交流プログラム

8/12　ホームビジット

8/13　帰国（福岡空港着）



出発式（福岡空港）



RCY仲良しキャンプ

（６）赤十字講習・プログラム活用の推進

未来を担う子どもたちに、防災教育プログラム（再掲）や健康・安全のための講習会、専門職員による出前授業を行いました。

講習内容	実施時期	会　　場	対象・人数
「いのち」の大切さについて（看護師講話）	４月13日	下関市立関西小学校	全校児童80人
国際理解学習（シリア人道危機について）	６月17日	山口県立華陵高等学校	東部地区高校生部員40人
AED、防災学習（非常食炊き出し・ロープワーク）	８月18日	下関市立青年の家	西部地区高校生部員36人
救急法（けがの応急手当）	８月22日	宇部市総合福祉会館	南部地区高校生部員77人
防災学習（非常持出しリュック・避難所について）	８月26日	周南市立福川中学校	福川地区小・中学生83人
防災学習（防災ボランティアについて）	９月30日	山口県立華陵高等学校	東部地区高校生部員24人
癒しのハンドケア（高齢者施設訪問のための実技指導）	10月３日	山口市立湯田小学校	５、６年生　20人
防災学習（地震災害について）	10月５日	山口市立白石小学校	５年生　99人
福祉体験学習（高齢者の理解・疑似体験）	10月18日	山口県立宇部商業高等学校	１年生　139人
国際理解学習（海外派遣医師の講演）	11月９日	岩国市立愛宕小学校	６年生　85人
防災講習（非常食炊き出し・避難所で役立つ知識）	11月29日	下関市立桜山小学校	保護者・地域住民20人
防災講習（地震災害について）	１月17日	萩市立育英小学校	１～３年生・保護者18人
防災講習（地震災害について）	１月25日	美祢市立豊田前小学校	全校児童・保護者・教職員55名
防災講習（大雨災害・避難所で役立つ知識について）	３月８日	岩国市立周北小学校	全校児童・教職員14人

幼児安全法（身近なものでできるけがの応急手当）	3月16日	山口県立 宇部商業高等学校	高校生部員・指導者37人
合　　計		15回	827人



防災学習



癒しのハンドケア

（7）赤十字・青少年赤十字シンボルツリー「イトスギ」の植樹事業

赤十字思想の普及のため、県内加盟園・校等に青少年赤十字の支援組織である山口県青少年赤十字賛助奉仕団とイトスギの苗を育て、植樹する活動は、3年目を迎え、加盟校への植樹は、今年度で6校となりました。

実施時期	場　　所
5月18日	山口県立豊浦高等学校
10月27日	山口県立長府高等学校
11月 6 日	美祢市立於福中学校
11月 7 日	山口市立大殿小学校



4　国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の有力な一員として、赤十字国際委員会及び赤十字・赤新月社連盟の要請により、地域紛争や自然災害による犠牲者を救援するため、医療要員の派遣を始めとして、医薬品や食料等の救援物資を送るなど、さまざまな救援活動を行っています。平成29年度は、山口県からは19年ぶりとなる国際救援要員の派遣、発展途上国における保健衛生事業への援助、地域紛争や自然災害を支援するための救援金募集等を行いました。

（1）国際救援要員の海外派遣

ミャンマーのラカイン州での暴力問題に伴うバングラデシュ南部避難民を救護するため、国際赤十字・赤新月社連盟の要請により、山口県支部から看護師1名を派遣しました。

派遣職員氏名	三戸　道江
所　　属	山口赤十字病院看護部
派　遣　先	バングラデシュ人民共和国 コックスバザール等
派遣期間	平成30年２月16日～ ３月22日（35日間）
業務内容	避難民等への医療救護活動



（２）発展途上国開発援助（アジア・大洋州「給水・衛生」キット支援事業）

中国・四国各県支部との共同事業として、洪水やサイクロンなどの災害に対し、現地で給水・衛生活動が展開できるよう、「給水・衛生キット」の開発・配備に対して継続的な資金援助を行いました。

【助成金額】

平成28年度	平成 29 年度	前年対比
809,522円	764,399 円	94.4%

（３）海外救援金の募集

①ＮＨＫ海外たすけあい

1983年から日本赤十字社とNHKが共同で実施している募金キャンペーンで、海外の紛争や災害等で苦しんでいる人々を支援するために、今年度も12月１日から25日の間、募金の募集を行いました。



【募集件数および募集金額】

	平成 28 年度	平成 29 年度	前年対比
件　数	1,529 件	1,808 件	118.2%
金　額	5,687,141 円	5,907,215 円	103.8%

②その他の救援金

世界各国の赤十字社・赤新月社を通じて被災国の赤十字社に寄せられる「海外救援金」は、被災国の赤十字社が行う被災者支援活動に役立てられます。平成29年度も被災国の赤十字社からの依頼に基づいた救援金を募集しました。

救援金区分	件　数	金　額
中東人道危機救援金	3 件	2,645円
2017年南アジア水害救援金	7 件	41,664円
バングラデシュ南部避難民救援金	6 件	51,111円
その他救援金	1 件	20,000円
合　計	17件	115,420円

（４）安否調査

各国赤十字は、ジュネーブ条約に基づき、赤十字国際委員会の調整のもと、捕虜や行方不明者に関する情報収集や通常の通信手段が途絶えた家族間の安否調査を実施しています。当支部における実施状況は次のとおりです。

依　頼　元	件　数
朝鮮民主主義人民共和国	１件

５　赤十字奉仕団による活動

赤十字奉仕団は、赤十字の理念である人道的な諸活動を実践するため、地域やボランティア活動の分野ごとに結成されたボランティア組織であり、その活動は、赤十字運動の普及にかかせないものです。

当支部では、奉仕団相互の連携強化を図るとともに、活動の中心となるボランティアリーダーの育成や計画的な指導講師を養成し、活動の充実に向けた体制強化を図りました。

また、各奉仕団がそれぞれ円滑な活動を展開できるよう、情報交換や連絡調整を図るための会議や各種研修会等を開催しました。

【山口県の奉仕団結成状況】（平成30年３月31日現在）

奉仕団の種類		団数	団員（登録者）数	特　　色
地域奉仕団		44 団	10,994 人	主として、市町の婦人会組織等。一定の地域ごとに結成され、赤十字の思想普及、活動資金募集、災害時の救護活動支援等、地域に密着した活動を行っている。
青年（学生）奉仕団		3 団	49 人	青年や学生で組織され、献血推進や社会福祉施設の訪問等の活動を行っている。
特殊奉仕団	安全奉仕団	1 団	155 人	救急法・水上安全法・幼児安全法の指導員で結成され、県民の健康と安全を守るための講習会の指導を行っている。
	アマチュア無線奉仕団	1 団	94 人	アマチュア無線免許保有者で結成され、非常災害時において通信網を確保し、正確かつ迅速な情報の収集と伝達を行うことを目的に活動している。
	青少年赤十字賛助奉仕団	1 団	72 人	青少年赤十字活動の普及や加盟促進を目的に活動しており、青少年赤十字の指導経験者や、目標に賛同された方で組織されている。
	災害救護奉仕団	2 団	75 人	災害時に赤十字が実施する救護活動に協力することや、平時に防災思想の普及を図ることを目的に組織されている。
合　　計		52 団	11,439 人	

（１）赤十字奉仕団相互の連携強化

①赤十字奉仕団支部委員会の開催

地域奉仕団、青年（学生）奉仕団、専門技能を持つ特殊奉仕団の委員長から構成される山口県赤十字支部委員会を開催し、情報交換や相互の連携強化に向けて意見交換を行いました。



名　称	実施時期	会　場	参加者
平成29年度赤十字奉仕団山口県支部委員会	５月29日	カリエンテ山口	地域・特殊・青年（学生）奉仕団委員長７人

②赤十字奉仕団相互の連携強化

赤十字事業を県内全域へと広げるため、地域と密着した活動をしている地域奉仕団を中心に、青年（学生）奉仕団、特殊奉仕団の連携を促進しました。

【奉仕団別の連携事業】

奉仕団名	地域奉仕団との連携事業
青年（学生）奉仕団	献血推進や社会福祉施設の訪問
安全奉仕団	県内全域での救急法等講習会指導・受講促進
アマチュア無線奉仕団	通信訓練及び県・市町防災訓練への参加
青少年赤十字賛助奉仕団	JRC 未加盟校への加盟促進
災害救護奉仕団	県内全域での防災講習会指導・防災減災意識の向上

（２）ボランティアリーダーの育成

各奉仕団の中から赤十字ボランティア活動の中心となるボランティアリーダーを育成し、活動の更なる充実・拡大を図りました。

○地域奉仕団

研　修　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度赤十字ボランティア・リーダー研修会	８月26～28日	東京都国立オリンピックセンター	1名
平成29年度山口県赤十字奉仕団中堅団員研修会	10月3日	カリエンテ山口	65名
平成29年度中国・四国赤十字奉仕団研修会	11月15～17日	えひめ共済会館日本赤十字社愛媛県支部	2名

○青年（学生）奉仕団

研　修　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度赤十字ボランティア・リーダー研修会	８月26～28日	東京都国立オリンピックセンター	1名
平成29年度山口県青年(学生)赤十字奉仕団リーダー研修会	12月27日	日赤山口県支部	15名

○防災奉仕団

研　修　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度赤十字防災ボランティア・リーダー養成研修会	11月 18・19日	日赤本社	2名



山口県赤十字奉仕団中堅団員研修会



山口県青年（学生）赤十字奉仕団リーダー研修会

（３）支部指導講師の養成

赤十字ボランティアの活動や研修内容を一層向上させるため、ボランティア活動の指導・助言を行う支部指導講師を奉仕団員の中から養成しました。

研　修　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度赤十字奉仕団支部指導講師養成研修会	２月 ５～７日	日赤本社	2名

（４）赤十字イベントへの参加協力

10月22日開催「もっと知って！やまぐち赤十字フェスタ2017」では赤十字奉仕団によるプログラムを実施し、講習の体験コーナーや非常食炊き出し等、赤十字奉仕団の活動紹介を行いました。

奉仕団名	内容	人数
萩市旭赤十字奉仕団	ハイゼックスを使用した非常食炊き出し試食	6名
山口県赤十字安全奉仕団	赤十字ミニ講習（救急法・幼児安全法）	6名
山口県赤十字防災奉仕団	赤十字ミニ講習（避難所で役立つ技術等）	4名
山口県赤十字アマチュア無線奉仕団	ラジオ制作	15名
山口大学学生奉仕団 山口県立大学学生奉仕団 宇部青年赤十字奉仕団	着ぐるみ着用、各種プログラム補助	6名

（５）各奉仕団の活動

○地域奉仕団

会　議　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度 山口県赤十字奉仕団委員長会議	5月29日	カリエンテ山口	地域奉委員長42人 地区・分区職員34人

研　修　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度山口県赤十字奉仕団県外視察研修	11月28日	広島県赤十字血液センター 日赤広島県支部 広島赤十字・原爆病院 メモリアルパーク	地域奉仕団委員長・団員　20名





山口県赤十字奉仕団県外視察研修

地域奉仕団では、主な活動として、５月の赤十字運動月間に合わせ、県下へ広く広報するため、毎年県下一斉ボランティアを実施しています。平成29年度は30を超える奉仕団が活動し、赤十字エプロンやワッペン、奉仕団旗を掲げながら、地域の清掃や炊き出し訓練、献血の呼びかけ等を行いました。

○青年（学生）奉仕団

会　議　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度第５ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会代表者会議	６月 ３～４日	岡山県青年館	1名
平成29年山口大学学生赤十字奉仕団年末総会	12月３日	日赤山口県支部	13名
平成30年山口大学学生赤十字奉仕団新年総会	１月14日	日赤山口県支部	11名
平成29年度 山口県青年（学生）赤十字奉仕団総会	３月21日	日赤山口県支部	25名
平成29年度 山口県立大学学生赤十字奉仕団総会	３月21日	日赤山口県支部	13名

研　修　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度第５ブロック 青年赤十字奉仕団研修会	11月 ３～５日	オリエントホテル高知和風別館「吉萬」	2名

今年度は、献血時やイベント等献血推進の協力や、高齢者福祉施設への訪問、海外たすけあい募金をはじめとした募金などの活動を行いました。

○安全奉仕団

会　議　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度山口県赤十字安全奉仕団総会	４月８日	カリエンテ山口	安全奉仕団員 111名
平成29年度山口県赤十字安全奉仕団役員会	２月17日	日赤山口県支部	安全奉仕団役員 14名

研　修　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度救急法等指導員研修会	４月８日	カリエンテ山口	救急法指導員 111名
平成29年度山口県赤十字安全奉仕団各地区研修会・赤十字救急法職員指導員研修会	①５月27日 ②５月27日 ③６月３日 ④６月３日	①宇部市総合福祉会館 ②岩国市役所 ③あいぱーく光 ④日赤山口県支部	救急法等指導員 ①28名 ②35名 ③29名 ④47名
平成29年度水上安全法指導員研修会	①６月９～11日 ②７月１～２日	①きらら博プール ②山陽小野田市 焼野海岸	水上安全法 指導員 ①15名②14名
平成29年度幼児安全法指導員研修会	６月17日	①日赤山口県支部 ②あいぱーく光	幼児安全法 指導員 ①42名②16名
平成29年度健康生活支援講習指導員研修会	３月18日	日赤山口県支部	健康生活支援講習指導員25名

	講習回数（団員協力／全講習数）	協力団員（実人数）
救急法	335回／355回	113 人
水上安全法	45回／ 46回	22 人
健康生活支援講習	2回／ 20回	2 人
幼児安全法	22回／ 25回	16 人

○アマチュア無線奉仕団

会　議　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度山口県赤十字アマチュア無線奉仕団総会	４月９日	日赤山口県支部	33名
平成29年度山口県赤十字アマチュア無線奉仕団役員会	３月24日	日赤山口県支部	11名

研　修　名及びクラブ局運用	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度山口県赤十字アマチュア無線奉仕団研修会	４月９日	日赤山口県支部	29名
平成29年度 第１回クラブ局運用	５月28日	下関市長府（山口県総合防災訓練会場）	11名
平成29年度 第２回クラブ局運用	10月22日	日赤山口県支部	15名
平成29年度 第３回クラブ局運用	３月24日	日赤山口県支部	18名

そのほか、全国の赤十字アマチュア無線奉仕団との通信訓練を、10回行いました。

○青少年赤十字賛助奉仕団

会　議　名	実施時期	会　場	参加者数
全国青少年赤十字賛助奉仕団 協議会総会	7月 5～6日	日赤本社	1名
平成29年度山口県青少年 赤十字賛助奉仕団総会・研修会	8月29日	日赤山口県支部	12名
平成29年度中国・四国ブロック 青少年赤十字賛助奉仕団協議会	10月 12～13日	島根県松江市 サンラポーむらくも	4名

○災害救護奉仕団

会　議　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度山口県赤十字 防災奉仕団総会	4月16日	日赤山口県支部	18名
平成29年度山口県赤十字 防災奉仕団役員会	2月17日	日赤山口県支部	6名

研　修　名	実施時期	会　場	参加者数
平成29年度山口県赤十字 防災奉仕団研修会	4月16日	日赤山口県支部	19名
平成29年度防災教育指導者 養成研修会	6月 2～4日	日赤本社	2名
平成29年度第2回防災奉仕団研修会（兼赤十字防災ボランティア養成研修会）	3月11日	日赤山口県支部	19名

今年度は、県内各地の防災講習に30回のべ81人の団員の協力をいただきました。



救急法等指導員研修会





山口県赤十字アマチュア無線奉仕団総会・研修会

（6）HIV/AIDS予防啓発

エイズの予防啓発のため、若者同士が話しやすい雰囲気の中で、性に関する正しい知識や、行動について話し合う機会を持つきっかけを作り、正しい知識を伝えるための研修会「HIV/AIDSピア・エデュケーション」を山口県赤十字青年（学生）赤十字奉仕団が開催しました。

実施時期	会場	参加者
12月27日 ※平成29年度山口県青年（学生）赤十字奉仕団リーダー研修会にて開催	日赤山口県支部	青年奉仕団員15名
1月15日	山口県労福協会館	一般学生2名





6　赤十字思想の普及

（1）広報活動

①赤十字運動月間キャンペーン

平成29年度から変更された社員制度の定着および会員の増強に向けて、４～５月にかけて地区分区の協賛委員会等で制度の改正についての説明を実施し、活動資金および会員募集促進を図りました。また、レッド・ライトアップ・プロジェクトやイベントを実施して日赤の活動をＰＲしました。

《レッド・ライトアップ・プロジェクト》

多くの人々に「人道の大切さ」について考え、理解を深めていただくきっかけとして、５月の赤十字運動月間に各地の公共・民間施設を赤色に灯す運動を平成28年度から全国一斉に実施しています。

２年目となる今年度も、夜空に浮かぶ赤十字色の灯りが、過去の震災や被災地で苦しんでいる人を「忘れない、風化させない」という想いにつながることを願って、県内の３施設に協力をいただき、世界赤十字デー（５月８日）を中心とした期間にライトアップを実施しました。

【ライトアップ実施施設】

協　力　先	場　　所	期　　間
山口県国際総合センター	海峡ゆめタワー	平成29年５月７～９日
三宅商事	三宅商事本社ビル	平成29年５月１～31日
豊北町観光協会	太翔館	平成29年５月６～８日


海峡ゆめタワー



三宅商事本社ビル


太翔館

【実施イベント】

イベント名	実施時期	場　　所	内　　容
一日赤十字と看護の日 ふれあいフェスタ2017	5月14日	おのだサンパーク	防災啓発パネル掲示、赤十字関連動画放映、なりきり救護員記念撮影、各種身体測定ほか
非常持ち出しリュックを作ってみよう！	5月21日	ザ・モール周南	非常用リュックの詰込体験、なりきり救護員記念撮影ほか



一日赤十字と看護の日ふれあいフェスタ2017


非常持ち出しリュックを作ってみよう！

②広報資材の作成・配布

県内全域へ赤十字事業・活動を報告するため、広報誌を年２回発行しました。また、個別事業の報告のためのパンフレットを作成して、関係者および協力先へ配布しました。

広 報 資 材 名	発行時期	発行部数	配 布・設 置 先
赤十字やまぐち2017秋号	H29年10月	342,690部	各地区分区（原則各戸配布）、講習受講者、赤十字サポーター他
赤十字やまぐち2018春号	H30年 3月	433,150部	
ＪＲＣトピック	適時（年３回）	1,000部／回	JRC加盟校他
奉仕団だより	適時（年４回）	600部／回	奉仕団員、各地区分区

③ホームページ・ＳＮＳによる情報発信

主に若年層の支持者を増やすために、引き続きホームページとフェイスブックで写真や動画を活用した目に見える活動報告を行いました。

④赤十字イベントの開催

平成28年度に引き続き、赤十字事業への理解促進を目的に「もっと知って！やまぐち赤十字フェスタ2017」を開催しました。支部・施設職員、奉仕団、青少年赤十字加盟校が一体となり、それぞれ体験型プログラムを実施し、来場者は1,000人を超えました。





（２）企業・団体とのタイアップによるＣＳＲ活動の普及

①赤十字サポーター

平成25年度から実施している赤十字サポーター制度では、法人のCSR活動を促進するために、赤十字活動資金への継続的な支援と、企業・団体の事業内容に沿った赤十字事業への協力という要件を満たした企業・団体を、赤十字サポーターとして認定しています。平成29年度は２法人を認定し、合計で８法人となりました。

【平成29年度赤十字サポーター認定法人】

社　　名	所在地	認定日	支援協力内容
澤田建設	防府市	H29. 9.1	寄付つき自動販売機の設置、保有施設での赤十字広報協力
コムズコーポレーション	下関市	H29.12.1	寄付つき自動販売機の設置、保有施設での赤十字広報協力、組織的な献血推進



澤田建設



コムズコーポレーション

②レノファ山口とのパートナーシップ協定に基づく取組の充実

平成28年３月に締結したパートナーシップ協定の内容に基づき、平成29年度は以下の相互協力を行いました。

【赤十字⇒レノファ】

実施項目	実施時期	備考（会場・内容等）
ホームゲーム救護所要員としてのボランティア救護員の派遣（各試合３名・23試合）	４～11月 ２～３月	山口維新百年記念公園陸上競技場 および下関市陸上競技場 赤十字病院の看護師等（延べ68人）
救急法等講習会の実施	２月12日	レノファ山口FCのボランティア団体「TeamBONDS」への救急法講習実施
広報協力	適　時	保有施設でポスター等の掲示

【レノファ⇒赤十字】

実施項目	実施時期	備　　考
献血イベントの実施	年３回	ホームゲームへの献血バス配車
レノ丸の派遣	10月22日	「もっと知って！やまぐち赤十字フェスタ」へのレノ丸派遣
広報協力	適　時	保有施設でポスター等の掲示





（３）表彰

活動資金の協力や赤十字事業の進展に尽くされた方に表彰を行いました。

表彰区分			表彰基準	個人（人）	法人（社／団体）	合計
活動資金	社長感謝状		金色有功章受章後（累計）50万円以上	7	5	12
	有功章	金色	（累計）50万円以上	12	13	25
		銀色	（累計）20万円以上	22	107	129
	支部長表彰状 支部長感謝状		（累計）10万円以上	1	3	4
	特別社員章		（累計）２万円以上	53	5	58
	小　　計			95	133	228
献血者	有功章	金色	献血回数100回以上	45		45
		銀色	献血回数 70回以上	61		61
	小　　計			106		106
合　　計				201	133	334

○表彰伝達式

社長感謝状及び金色有功章の受章者の方には、支部長から賞状や有功章を直接伝達しました。

（日程）平成30年２月21日（水）

（会場）ホテルニュータナカ



（４）国際人道法の普及

赤十字運動の根幹をなす国際人道法や赤十字の基本原則、赤十字の理念・目的等の理解を通じて、赤十字の行う国際活動への理解や支援が得られるよう、職員を中心に奉仕団員や青少年赤十字指導者にも聴講を呼びかけ、「国際人道法セミナー」を実施しました。

題名：「赤十字と国際人道法」

講師：日本赤十字看護大学　教授　井上　忠男　氏



実施時期	会　　場	受講者数
１月 17 日	小野田赤十字病院	80 人
１月 18 日	旧山口赤十字看護専門学校体育館	100 人

7　赤十字活動資金の確保

日赤の事業は、独立採算となる医療事業・血液事業以外は、全て県民の皆様からお寄せいただく活動資金が拠りどころですが、少子高齢化が加速し、地域社会が変容していく中、その確保が大変厳しい状況にあります。このような状況を打開すべく、地区・分区や奉仕団と連携し、一般・法人対策を強化するとともに、多様な活動資金納入方法の周知や、遺贈・相続による寄付の獲得に努めましたが、平成29年度は、２億円を切る過去最低の厳しい結果となりました。

【平成29年度の活動資金募集状況】

区分	平成 28 年度実績	平成 29 年度目標	平成 29 年度実績	達成率	昨年対比
一般	185,076 千円	209,000 千円	180,547 千円	88.1%	97.6%
法人	18,468 千円	20,000 千円	16,277 千円	81.4%	88.1%
合計	203,544 千円	229,000 千円	196,824 千円	87.5%	96.7%

（１）一般対策

赤十字運動月間での募集に先立って、地区分区で開催される協賛委員会や自治会長集会等へ支部職員や地区分区担当職員が出席し、毎年の協力に対する感謝を伝えるとともに、活動資金の実情を説明して募集活動への協力をお願いしました。

【地区分区の協賛委員会議等】

行　　事　　名	開 催 時 期
日本赤十字社下関市地区代表協賛委員・分区長合同会議	平成29年４月７日
田布施町自治会連絡協議会	平成29年４月13日
日本赤十字社山陽小野田市協賛委員会	平成29年４月18日
日赤光市地区分区長会議	平成29年４月19日
日本赤十字社下松市地区協賛委員会	平成29年４月26日

日本赤十字社防府市地区協賛委員会春季定期総会	平成29年４月26日
平生町行政協力員会議	平成29年４月下旬
自治会長集会（下関市・山口市）	平成29年４～５月
日本赤十字社宇部市地区協賛委員会	平成30年２月23日

（２）法人対策

①ダイレクトメールによる募集

年３回発送（５月・10月・１月）のダイレクトメールにより、法人に対して活動資金の募集を行いました。

	発送数	応諾数	応諾率	協力金額
５月　発送分	8,984 件	1,007 件	11.21％	10,260,313 円
10月　発送分	687 件	123 件	17.90％	1,178,000 円
１月　発送分	184 件	42 件	22.83％	430,000 円
合　　計	9,671 件	1,172 件	13.05％	11,868,313 円

【発送条件】

・５月分：支部保有法人データ全件（8,984法人）
・10月分：５月発送分のDMに未応諾法人のうち、過去５年以内に活動資金に協力いただいている法人
・１月分：５月10月発送分のDMに未応諾法人のうち、前年度に活動資金に協力いただいている法人

②訪問による募集

年額５万円以上協力いただいた法人に対して、受領書を直接お届けして感謝の意をお伝えするとともに、赤十字事業についての説明をさせていただき、今後のさらなる協力をお願いしました。

③赤十字サポーター制度の普及

ＣＳＲに積極的な企業・団体に対して、寄付つき自動販売機や募金箱の設置等をお願いし、赤十字サポーター制度の普及を推進しました。その結果、今年度は、寄付つき自動販売機３台を設置していただくことができました。



（３）多様な活動資金納入方法の周知

当支部では、窓口払いや銀行振り込み以外にも、口座振替やクレジットカード払い、コンビニ払い、ネット銀行決済等様々な協力方法を整えています。今年度も、広報誌やホームページ等で紹介し、活動資金への協力促進を図りました。

（４）遺贈・相続による寄付の獲得

香典返しによる寄付の実例を新聞へ掲載するとともに、当支部が遺贈・相続財産による寄付の受け入れ団体であることを周知するための新聞広告を２回掲載しました。また、関係団体に設置していただくためのパンフレットを作成しました。

8　医療事業

日本赤十字社は、全国に91の病院を有していますが、赤十字病院は、地域の中核医療機関として救急医療や高齢化社会に対応した医療活動等を行っています。

また、医療救護体制を常時整えており、国内外で災害や紛争が発生したときには速やかに医療チームの派遣を行っています。

県内では、地域の特性に合わせて、こども急病センター、訪問看護ステーション、老人保健施設や在宅介護支援センターを整備し、医療活動を通じて住民の健康と福祉の向上を図っています。

（1）山口赤十字病院

①病院機能の充実・強化

ア　チーム医療の推進

NST（栄養サポートチーム）やRST（呼吸サポートチーム）、糖尿病透析予防指導、糖尿病合併管理などの既存の医療チームの活動の強化を図るとともに、精神科リエゾンや認知症ケアなど新たなチーム医療の実施に積極的に取り組んでいます。また、糖尿病透析予防指導チームは山口市の糖尿病性腎症重症化予防事業にも参加するようになりました。

イ　入退院支援機能の充実（訪問看護ステーションとの連携を含む）

入退院支援センターを核として入院患者の円滑な入・退院を支援するとともに、訪問看護ステーションなどと連携を図りながら、退院後もより安全なそして安定した在宅療養ができるように支援することで、地域包括ケアの一翼を担っています。

ウ　リハビリテーション提供体制の拡充・強化

廃用症候群を予防し、早期のADL向上と社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもとに発症後早期から積極的なリハビリテーションを実施しています。

エ　薬剤指導業務の充実（病棟薬剤師配置等）

医療の質の向上と医師等の業務負担軽減を目的に病棟への薬剤師の配置を進め、全病棟一定時間以上の薬剤師配置、病棟薬剤業務実施加算の維持及び薬剤管理指導件数の増加・質向上を図っています。また、手術室での業務拡大にも取り組でいます。

オ　高度医療機器の共同利用の推進

医療機器の効率的活用による画像診断、生理機能検査への積極的対応及び検診業務との連携強化、適切・必要な検査による病態診断の向上を図るとともに、医療機器の有効活用や地域の医療機関の診断支援を行うために高度医療機器の共同利用を積極的に進めています。

カ　食事指導業務の充実

入院患者に対し病態に対応した安全で治療効果の上がる特別食の提供に努めています。疾病の予防・回復、健康の維持・増進に役立つ栄養指導を入院・外来患者に対し積極的に実施しています。

キ　特定行為研修を行う指定研修機関の指定

今年度、厚生労働省より特定行為（医師・歯科医師が予め作成した手順により実施できる行為）が実施できる看護師を育成する機関として指定されました。

ク　ストーマ認定施設として承認

ストーマ（人工肛門・人工膀胱）を保有する方、あるいはこれから造設予定の患者さんに安心して病院を選んでいただくために始まった制度です。

ケ　フルハイビジョン３Ｄ内視鏡システムの導入

当院の「内視鏡外科手術センター」では３Ｄシステムの導入により、神経や血管の損傷を容易に回避でき、より高度な手技が可能となり、時間短縮にもつながっています。

コ　腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の施設基準取得

現在わが国で最も選択されているのは前立腺全摘除術です。なかでも腹腔鏡下前立腺全摘除術は高度な技術を要するため、施設認定の登録が必要です。当科においては500例以上の開腹手術の経験を生かしながら腹腔鏡下手術を取り入れたことで、より安全で低侵襲な手術を提供することができるようになりました。

サ　マンモグラフィー（３Ｄ機能付）の導入

７月より３次元（３Ｄ）の画像ができる乳房専門のＸ線撮影装置を導入しました。今までの装置では、乳腺の重なりにより病変が隠れてしまうことがあったが、この装置により乳腺の重なりが少ない画像が見られるようになります。また、当院ではマンモグラフィー撮影は女性技師が対応しています。

シ　山口赤十字病院公的医療機関等2025プラン策定

公的医療機関ごと地域医療構想が達成できるように、今後の方向性について策定し県に報告しました。

②医療安全の推進

良質な医療サービスを提供する上での最重要課題である医療安全を確保するため、医療安全管理のための職員研修などに病院全体で取り組んでいます。また、平成29年11月17日（金）・18日（土）の２日間、中四国の赤十字病院職員を対象とした「中四国ブロック赤十字医療施設医療安全推進担当者研修会」を小野田赤十字病院と共同で山口市にて開催しました。

③経営の安定化

ア　収益向上対策

地域医療連携の強化による紹介患者や救急患者の確保及び効果的なベッドコントロールなどを通じて新規入院患者を増やしています。また、平成28年度に取得した夜間看護体制加算（16対１）や病棟薬剤業務実施加算、地域医療支援病院入院診療加算に加え新たな加算取得の検討や効率性係数などDPCの各種係数アップ、既存の管理・指導料などの算定率向上対策に努め、診療単価のアップを目指していきます。さらに、未収金の発生を未然に防止するとともに、発生した未収金の早期回収に取り組むとともに、債権額の的確な把握に努め、迅速に適切な対応を図っています。

イ　費用の適正化

経費節減に努め、材料費、委託料などの適正化を図り、各々の費用の医業収益に対する比率が現状以下に抑えられるようにするとともに、適正な職員配置により労働生産性の向上に努めています。また、患者負担の低減や経費の削減、さらにはDPC機能評価係数Ⅱの後発医薬品係数の維持を目指し、後発医薬品の採用を進めています。

ウ　経営管理機能の強化

各種経営情報の一元管理を行い、経営課題を抽出し、戦略的な業務運営を行います。また、経営管理機能の強化を図るため、パフォーマンス指標により経営課題ごとに対策と数値目標を定め、PDCAサイクルの進行管理による評価・改善に努めています。

④地域への貢献

ア　地域医療機関等との連携強化による紹介患者の確保と退院調整機能の強化

紹介患者の積極的な受入れや診療所への効果的な訪問などを行う地域連携体制の整備を行うとともに、地域連携パスの運用強化や退院支援・退院調整機能の強化を図り、地域医療支援病院の地位を確立するよう努めています。

イ　地域の医療機関との連携による高度医療機器等の有効活用

地域医療支援病院として、地域の医療機関の効果的な診断を支援するため、当院の高度医療機器等の共同利用を進めています。

ウ　地域の医療従事者の資質向上支援

地域医療支援病院として、地域の医療従事者の資質向上を支援するため、当院において地域医療従事者向け研修会を計画的に開催しています。

平成29年度　地域医療従事者研修会の実施状況

	当院主催の部署	日時	内容	参加者人数		
				院内	院外	合計
1	新人看護研修会	2017/4/10～ 2018/2/15 全19回 旧看護学校	スキンケア・オムツ交換、パソコンの使い方、看護事故防止、看護記録、感染予防技術、与薬の技術、オーラルケア、食事の援助、物品の管理、コスト管理吸引の技術、カテーテル管理、注射点滴の技術など、15回分は終了	16	6	22
2	神経内科	2017/4/25 17:30～18:30 管理棟会議室	神経内科セミナー「脳梗塞　総論」	24	12	36
3	神経内科	2017/5/23 17:30～18:30 管理棟会議室	神経内科セミナー：「脳梗塞　急性期治療」	36	14	50
4	地域支援ネットワーク 研究会Part18	2017/6/21 17:30～19:00 管理棟会議室	「手洗いはまず大切！ほかには？ ー基本的な感染対策についてー」 感染管理認定看護師　神崎多紀子	11	23	34
5	創傷ケアエキスパート ナースコース研修	2017/6/27・7/25・8/22 9/26・10/24・11/28・ 12/26 旧看護学校	褥瘡リスクアセスメントと予防ケア・体圧管理・創傷治癒 理論と創傷周囲の皮膚のケア・基本的スキンケア 褥瘡に使える創傷被服材と薬剤の使い方	10	12	22
6	神経内科	2017/6/27 17:30～18:30 管理棟会議室	神経内科セミナー：「脳梗塞　慢性期治療」	26	15	41
7	山口地区 院内感染防止 研修会	2017/7/6 17:30～18:30 管理棟会議室	「求められる感染制御」 大阪市立大学大学院臨床感染制御学教授：掛屋 弘 共催：アステラス製薬	41	11	52
8	大腸癌化学療法 セミナー	2017/7/6 17:30～18:30 管理棟会議室	「大腸癌治療におけるＴＳ－１の位置づけ」 北摂総合病院化学療法センター長：西谷 仁 共催：大鵬薬品工業	35	4	39
9	神経内科	2017/7/25 17:30～18:30 管理棟会議室	神経内科セミナー：「パーキンソン病」	19	29	48
10	地域支援ネットワーク 研究会Part19	2017/8/30 17:30～19:00 管理棟会議室	「介護拒否のある認知症の方への対応方法」 認知症看護認定看護師　原 陽子	19	15	34
11	RAカンファレンス in　山口市	2017/9/6 17:30～18:30 管理棟会議室	シンポジウム「地域包括ケアにおける医師・医療ソーシャル ワーカー・ケアマネジャーの役割」 特別講演「リウマチ医療に携わるスタッフの育成 ー最適化した治療をめざしてー」 共催：エーザイ株式会社	15	1	16
12	神経内科	2017/9/26 17:30～18:30 管理棟会議室	神経内科セミナー：「脊髄小脳変性症」	22	24	46
13	神経内科	2017/10/24 17:30～18:30 管理棟会議室	神経内科セミナー：「筋萎縮性側索硬化症」	27	23	50
14	地域支援ネットワーク 研究会Part20	2017/10/24 17:30～19:00 管理棟会議室	看取りとエンゼルケア研修会 緩和ケア認定看護師：小野芳子・原淳子	12	16	28
15	医療安全管理委員会	2017/10/26 17:15～18:30 旧看護学校体育館	笑いの現場から学ぶ！ 最強医療コミュニケーション「なんでやねんカ」 講師：Wマコト（中山真・中原誠）	254	55	309
16	神経内科	2017/11/28 17:30～18:30 管理棟会議室	神経内科セミナー：「髄膜炎・脳炎」	26	10	36
			合計	593	270	863

エ　広報の充実、マーケティング活動の展開、患者満足度の向上

平成25年３月に採用したマスコットキャラクターの活用も図りながら、知っちょる会における市民講座の開催や体験学習など、地域との触れ合い活動を推進しています。

・第14回知っちょる会　10月22日（日）
「カラダがよろこぶ栄養のはなし」
対象：地域住民32名

・第15回知っちょる会　11月23日（木）
ひざの健康セミナー２「もっと知りたい　ひざの痛みの原因と治療法」
対象：地域住民126名

・出張知っちょる会「赤十字健康生活支援講座」　３月12日（月）
「健康維持」寝たきりにならないための健康寿命
対象：高齢者　10名

・出張知っちょる会「赤十字健康生活支援講座」　３月14日（水）
「健康維持」寝たきりにならないための健康寿命
対象：高齢者　13名

また、紹介医の先生方にアンケート調査を実施した際、当院の診療内容や医師について情報提供のご要望が多く寄せられましたので、地域の先生と当院をつなぐ冊子「やまクロcross」の定期的な発行を開始しました。

（２）小野田赤十字病院

①救護訓練・研修会・行事への参加

ア　５月28日（日）に下関市長府会場（扇町第一グラウンド）で行われた「2017年山口県総合防災訓練」に救護班１個班を派遣しました。

イ　平成30年２月22日（木）～23日（金）に愛媛県で行われた「平成29年度日本赤十字社中国・四国ブロック災害対策本部要員研修会」に主事１名が参加しました。

ウ　県内で行われた各種行事に対し、けがや傷病者救護のため看護師を派遣しました。

・山陽小野田市：須恵東運動会　…　看護師１名・主事１名
・やけの美夕フェスタ　……　看護師１名
・竜王山ウォーク　……　看護師１名
・宇部市：原校区運動会　……　看護師２名・主事１名
・下関市：ツールドしものせき　…　看護師５名
・角島海岸清掃　……　看護師１名

②診療機能等の強化（医療機器等の更新）

ア　入院・外来患者及び健診受診者への適切な診断や処置のため、大腸ビデオスコープを更新しました。

イ　老人保健施設の入所者・利用者への快適な環境を提供するため、空調用吸収式冷温水機の更新をしました。

ウ　手術機能の充実のため、患者加温システムを更新しました。

エ　看護体制の適正配置を図るため、看護管理システムを更新しました。

③医療安全の向上

ア　医療安全の意識の向上を図るため、インシデント・アクシデントレポートの集計と分析を委員会や会議で毎月報告し、職員に伝達するとともにレベル３ａ以上の評価を１か月後に各部署で行っています。また、医療安全ニュースやレベル０報告から「あなたの気づきに感謝です」という褒めるメッセージニュースも作成し各部署に配布しました。

イ　医療安全意識と安全文化の醸成を図るため、５Ｓ活動を各部署で取り組み、成果発表会を行いました。マニュアル改訂をした説明会を「輸血療法委員会」「感染対策委員会」「医療機器安全管理対策作業部会」が合同で行いました。医療安全研修として経験年数別に少人数で「胃瘻について」「輸液ポンプのKYT」の研修も行いました。

ウ　医療安全推進週間では、病院全体で「ヒヤリハットから考えようKYT研修」においてグループワークを行いました。他に緊急時対応訓練、「インフルエンザ」「ノロウィルス」のパンフレットを作成し外来患者に配布しました。各部署ではポスターの掲示や部署別研修を行うとともに、５Ｓ活動強化に向けた院内ラウンドを行いました。

エ　「医療事故調査制度」について平成28年に改訂されたところは、当院のマニュアルを改訂しました。

④経営の安定化

ア　施設基準の取得

当院地域包括ケア病床の在宅復帰を円滑に進めるため、療養病棟入院基本料の在宅復帰機能強化加算を取得しました。

イ　経営改善企画委員会

経営の健全化を図るために設置した経営改善企画委員会により、収益においては各種加算の取得状況のフォローアップ、また公的医療機関等2025プランの策定など今後の病院の在り方などを検討するとともに、支出においては、准看護師・看護師の適正配置による人件費の抑制などを検討し、経費削減に努めています。

ウ　経営健全化計画の策定

経営の悪化に伴い、本社から支援病院（緊急に対策を講じなければ今後の経営を維持することが困難である病院）に指定されたため、今年度中に経営健全化計画（中期計画）を策定し、平成30年度からの３カ年計画で黒字への転換を図ることとなりました。

エ　入院患者の確保

地域の診療所に定期的に訪問し、当院の特徴等をPRするとともに、空ベッド情報を適時提供しています。また、地域の診療所との連携を行う上での課題や対策を話し合う地域連携会議を開催しています。

⑤地域住民へのＰＲ・啓発及び研修活動

ホームページや広報誌を充実し、当院の情報をより解りやすく、より早く伝えていくこととしております。また、地域密着型病院として、地域住民に対して積極的な啓発活動等を行いました。

ア　一日赤十字と看護の日ふれあいフェスタ2017

５月におのだサンパークで、ストレス度測定や体脂肪測定等を行いました。

イ　納涼祭

８月に地域住民の皆様と病院の入院患者及び老人保健施設あんじゅの入所者のふれあいの場である納涼祭を開催しました。

ウ　その他の行事

10月に宇部商業高等学校の１年生139名に対し、高齢者理解のための講習や高齢者疑似体験を行い、看護師１名、介護職員２名を派遣しました。

11月に「第７回　介護の日」のイベントを開催し、命を守る防災対策の講演、簡単にできるリラクゼーション方法背部マッサージ体験、大正琴の演奏等を行いました。

（３）本年度の診療状況

区　　分		山口赤十字病院	小野田赤十字病院
病 床 数		475 床	132 床
外来患者数	延 べ 数	172,604 人	18,038 人
	一日平均	710.3 人	74.2 人
入院患者数	延 べ 数	128,719 人	45,377 人
	一日平均	352.7 人	124.3 人

９　看護師の養成

将来、県内の赤十字施設で就業する意思がある、看護師等の資格取得を目指す学生の就学支援を目的に、平成17年度から奨学金貸与制度を開始し、看護師の養成を行っています。

10　血液事業

（１）献血状況

①種別献血者数

種　　別		献血者数（人）	前年度比（%）	前年度差（人）
全血献血	400mL 献血	38,984	97.5	▲ 1,011
	200mL 献血	575	100.7	4
成分献血	血小板成分献血	5,224	95.2	▲ 266
	血漿成分献血	3,346	75.2	▲ 1,098
献血者数合計		48,129	95.3	▲ 2,371

ア　献血者数は、前年度比95.3%、2,371人の減少。これは、下関ルームを平成29年12月末で閉所、平成30年２月中旬から１ヶ月間、血液センターのリニューアルにより閉所したため。

イ　血漿成分献血のうち、2,114人は分画製剤用原料血漿として採血

②施設別献血者数

施設	献血者数（人）	占有率（%）	前年度比（%）	前年度差（人）	１稼働献血者数
血液センター	8,309	17.3	96.0	▲ 339	29.6（＋ 1.6）
下関ルーム	5,485	11.4	71.4	▲ 2,196	24.0（▲ 1.2）
移動採血車	34,335	71.3	100.5	164	47.5（＋ 0.1）

ア　血液センターの1稼働献血者数は、29.6人（前年度より1.6人増）

イ　移動採血車の献血者数は、164人の増。（稼働台数は、年間714台で前年度同数）

③年代別（10代～30代）献血者状況

年代別	計画数	29 年度 献血者数	28 年度 献血者数	前年度差	前年度比	計画比
16 歳～ 19 歳	1,994	2,007	1,955	52	102.7	100.7
20 歳～ 29 歳	6,391	5,997	6,359	▲ 362	94.3	93.8
30 歳～ 39 歳	8,858	7,876	8,814	▲ 938	89.4	88.9
計	17,243	15,880	17,128	▲ 1,248	92.7	92.1

ア　10代から30代の若年層の献血者は、15,880人で前年度比92.7%、1,248人の減少
イ　10代は、高校・大学への移動採血車の配車を増加させることにより、前年度を上回った。
ウ　20代、30代は、減少し続けており、特に30代は効果的な対策がなく歯止めがかからない状況である。

（２）血液製剤の供給状況
①製剤別供給数

※単位：200mL献血から調整される製剤を１単位として換算

	供給数（単位）	前年度比（%）	前年度差（単位）
赤血球製剤	78,482	98.6	▲ 1,076
血小板製剤	80,392	109.0	6,657
血漿製剤	22,421	104.2	897
計	181,295	103.7	6,478

ア　平成25年度より全製剤で供給数は微減傾向にあったが、平成29年度は、総数で前年度比103.7%、血小板製剤、血漿製剤の供給数が増加した。
イ　増加した要因としては、岩国医療センターにおいて、血液内科が開設されたこと、山口大学医学部付属病院で生体肝移植が行われるようになったことが考えられる。

（３）収支状況
①事業収益
事業収益は、1,528,563千円（予算比103.3%　前年度比103.5%）
要因としては、輸血用血液製剤の供給量が年間を通じて当初予測を上回ったことによる。

（単位：千円）

	29年度決算額	29年度予算額	予算比 （%）	28年度決算額	前年比 （%）
血液製剤供給収益	1,528,055	1,478,956	103.3	1,475,459	103.6
その他の事業収益	508	496	102.4	1,380	36.8
計	1,528,563	1,479,452	103.3	1,476,839	103.5

②事業費用

事業費用は、1,178,575千円（予算比98.1％　前年度比101.2％）要因としては、材料費（血液製剤の在庫管理の徹底）、経費の削減など事業費用の厳格な予算の執行管理に努めたことによる。なお、経費の決算額が前年度を越えているが、これは血液センターのリニューアル関連経費及び突発的修繕の発生によるものである。

（単位：千円）

	29年度決算額	29年度予算額	予算比（％）	28年度決算額	前年比（％）
人　件　費	656,447	642,378	102.2	652,454	100.6
材　料　費	232,349	251,407	92.4	246,215	94.4
経　　費	289,779	307,882	94.1	265,752	109.0
計	1,178,575	1,201,667	98.1	1,164,421	101.2

（４）献血協力者を確保するための主な取り組み

①献血運動推進強調月間等におけるイベント等の開催

・13市における「愛の血液助け合い運動」イベントの開催（７月～８月）

・地区献血協議会（８地区）における「はたちの献血」キャンペーンの開催（１月～２月）

・学生献血推進協議会主催による「七夕献血」（７月）、「中四国学生統一献血」キャンペーン（９月）「クリスマス献血」キャンペーン（12月）の開催

②若年層献血者確保対策

ア　高校献血（卒業献血）及び大学（専門学校含む）献血の実施

・高校献血：540人（前年度比108.7％　43人増）
実施校：17校（公立11校　私立６校　実施率21.8％）

・大学献血：2,052人（前年度比115.7％　279人増）
実施校：15校（大学11校　専門学校等４校　延べ41回

イ　「献血セミナー」「キッズ献血（疑似献血）」の拡充

・献血セミナー参加者数：2,784人

・キッズ献血参加者数：704人（小学生641人　中・高校生63人）

ウ　小学生親子赤十字一日体験教室の開催（8/22～24）

・参加者数：48名（小学５・６年生、保護者）

エ　「レノファ山口」とのタイアップ事業

・ホームゲーム献血の開催：４回　献血者数213人

・レノファ山口マスコットキャラクターによる献血勧誘：２会場

オ　「LINE」の運用による献血情報の発信

・登録人数：246人

③複数回献血者の拡充（複数回献血者クラブ会員への登録）

・クラブ会員数：12,181人

・平成29年度新規登録者数：2,764人（目標数2,629人　達成率：105.1％）

（５）血液センターのリニューアルについて

下関市に開設していた献血ルームを平成29年12月末で閉所し、山口市の血液センターに移転・統合し、『やまぐち献血ルーム For you』として平成30年３月20日、リニューアルオープンいたしました。

H29.12 月まで	～ H30.2/16	2/17 ～ 3/19	H30.3/20 ～
血液センター （山口市）	血液センター	血液センター 〈改修工事〉	やまぐち献血ルーム 『For you』 リニューアル オープン
献血ルーム 「For you」 （下関市）			

11　評議員会及び監査等

（１）評議員会

評議員会を次のとおり開催し、いずれの議案も原案どおり承認された。

①第１回評議員会［平成29年６月８日（木）　於：ホテルニュータナカ］

議案第一号　平成28年度日本赤十字社山口県支部事業報告について
議案第二号　平成28年度一般会計歳入歳出決算について
議案第三号　平成28年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
議案第四号　代議員の選出について
報 告 事 項　平成28年度における血液事業について
　　綜合病院山口赤十字病院の病棟建替えについて

②第２回評議員会［平成30年２月21日（水）　於：ホテルニュータナカ］

議案第一号　平成30年度日本赤十字社山口県支部事業計画について
議案第二号　平成30年度一般会計歳入歳出予算について
議案第三号　平成30年度医療施設特別会計歳入歳出予算について
議案第四号　平成29年度一般会計歳入歳出補正予算について
議案第五号　平成29年度医療施設特別会計歳入歳出補正予算について
報 告 事 項　平成30年度血液センターにおける事業概要について

③第１回文書審議

平成29年７月７日付山口支総第367号にて文書審議を行い、支部長に村岡　嗣政氏（再任）が選出されました。

（２）監査

①決算監査

監査委員による平成28年度支部一般会計及び各施設特別会計の歳入歳出決算監査を、下記日程で実施しました。

平成29年５月26日（金）	日本赤十字社山口県支部
	山口県赤十字血液センター
平成29年５月30日（火）	山口赤十字病院
平成29年５月31日（水）	小野田赤十字病院

②予備監査

支部・施設の経営状況等について、中小企業診断士による予備監査を下記日程で実施しました。

平成29年７月10日（月）	日本赤十字社山口県支部
平成29年７月28日（金）	山口赤十字病院
平成29年８月１日（火）	小野田赤十字病院

③中間監査

支部及び各施設における平成29年度上半期を中心とする事業実施及び収支状況について、監査委員による中間監査を平成29年12月25日（月）に実施しました。

資　料　編

日本赤十字社山口県支部役員

平成30年６月１日現在

役　職　名	氏　名	備　考
支　部　長	村　岡　嗣　政	山口県知事
副支部長	藤　部　秀　則	
副支部長	福　田　良　彦	山口県市長会会長
支部参与	佐々木　克　之	山口県総務部長
支部参与	中　野　　恵	山口県健康福祉部長
支部参与	繁　吉　健　志	山口県副教育長
監査委員	石　津　敏　樹	
	山　縣　　始	
本社理事	中　山　光　江	本社代議員
本社代議員	林　登　季　子	
	原　　昌　克	
	西　川　公　博	

日本赤十字社山口県支部評議員

氏　　名	選出区分
齋　藤　宗　房	支　部　長
中　繁　尊　範	支　部　長
古　川　英　希	支　部　長
岩　野　雅　子	支　部　長
池　田　静　枝	支　部　長
矢　野　郷　士	下関市地区
内　山　峯　生	下関市地区
山　尾　末　明	下関市地区
田　中　正　男	下関市地区
中　野　リヱ子	宇部市地区
徳　田　文　範	宇部市地区
若　本　良　隆	宇部市地区
原　　昌　克	山口市地区
井　上　美代子	山口市地区
松　尾　冨美子	山口市地区

氏名	選出区分
村　上　嘉　昭	萩・阿武地区
広　石　　聖	防府市地区
坪　郷　久　榮	防府市地区
市　川　正　紀	下松市地区
藤　谷　允　子	岩国市地区
堀　江　　泰	岩国市地区
西　川　公　博	光市地区
竹　林　敏　子	長門市地区
嬉　　靜　恵	柳井市地区
沓　野　英　昭	美祢市地区
久　野　三砂子	周南市地区
佐久田　美智枝	周南市地区
岡　本　志　俊	山陽小野田市地区
椎　木　　巧	東部地区

地区・分区担当窓口一覧

平成30年3月現在

地区・分区	担当部課	〒	住所	電話番号	FAX番号
下関市	総務部 防災危機管理課	750-8521	下関市南部町 1-1	083-231-9333	083-231-9966
菊川	地域政策課 総務防災係	750-0313	下関市菊川町田部 734-1 下関市菊川総合支所	083-287-1112	083-287-2739
豊田	地域政策課 総務防災係	750-0421	下関市豊田町大字殿敷 1918-1 下関市豊田総合支所	083-766-1051	083-766-2683
豊浦	地域政策課 総務防災係	759-6301	下関市豊浦町大字川棚 6895-1 下関市豊浦総合支所	083-772-0612	083-774-3305
豊北	地域政策課 総務防災係	759-5592	下関市豊北町大字滝部 3140-1 下関市豊北総合支所	083-782-0063	083-782-1717
宇部市	健康福祉部 地域福祉・指導監査課 福祉相談係	755-8601	宇部市常盤町 1-7-1	0836-34-8325	0836-22-6028
山口市	健康福祉部 地域福祉課 地域福祉担当	753-8650	山口市亀山町 2-1	083-934-2790	083-934-5087
徳地	総合サービス課 健康福祉担当	747-0292	山口市徳地堀 1744 山口市徳地総合支所	0835-52-1121	0835-52-0760
秋穂	総合サービス課 健康福祉担当	754-1101	山口市秋穂東 6570 山口市秋穂総合支所	083-984-8023	083-984-8041
小郡	総合サービス課 健康福祉担当	754-8511	山口市小郡下郷 609-1 山口市小郡総合支所	083-973-8131	083-974-4387
阿知須	総合サービス課 健康福祉担当	754-1292	山口市阿知須 2743 山口市阿知須総合支所	0836-65-4114	0836-65-5188
阿東	総合サービス課 健康福祉担当	759-1512	山口市阿東徳佐中 3417-2 山口市阿東総合支所	083-956-0794	083-956-0680
萩市	保健福祉部 福祉政策課 地域福祉係	758-8555	萩市大字江向 510	0838-25-3550	0838-25-5103
川上	市民窓口部門	758-0141	萩市川上 4462-1 萩市川上総合事務所	0838-54-2121	0838-54-2430
田万川	市民窓口部門	759-3112	萩市大字下田万 1036 萩市田万川総合事務所	0838-72-0300	0838-72-0303
むつみ	市民窓口部門	758-0304	萩市大字吉部上 3191-1 萩市むつみ総合事務所	0838-86-0211	0838-86-0760
須佐	市民窓口部門	759-3411	萩市大字須佐 4570-5 萩市須佐総合事務所	08387-6-2016	08387-6-3406
旭	市民窓口部門	754-0411	萩市大字明木 3174 萩市旭総合事務所	0838-55-0211	0838-55-0217
福栄	市民窓口部門	758-0212	萩市大字福井下 4013-1 萩市福栄総合事務所	0838-52-0121	0838-52-0262
防府市	健康福祉部 社会福祉課 社会係	747-8501	防府市寿町 7-1	0835-25-2349	0835-25-2549
下松市	社会福祉協議会	744-0022	下松市大字末武下 617-2	0833-41-2242	0833-41-2330
岩国市	健康福祉部 社会課 管理班	740-8585	岩国市今津町 1-14-51	0827-29-5070	0827-22-0181
由宇	市民福祉課 福祉班	740-1428	岩国市由宇町中央 1-1-10 岩国市由宇総合支所	0827-63-1113	0827-63-1160

玖　　珂	市民福祉課　福祉班	742-0392	岩国市玖珂町　5990　岩国市玖珂総合支所	0827-82-2513	0827-82-6139
本　　郷	市民福祉課　市民福祉班	740-0602	岩国市本郷町本郷　2082-1　岩国市本郷総合支所	0827-75-2582	0827-75-2366
周　　東	市民福祉課　福祉班	742-0492	岩国市周東町下久原　1209-1　岩国市周東総合支所	0827-84-1113	0827-84-4386
錦	市民福祉課　福祉班	740-0724	岩国市錦町広瀬　12-8　岩国市錦総合支所	0827-72-2112	0827-72-2120
美　　川	市民福祉班	740-0502	岩国市美川町四馬神　1057　岩国市美川支所	0827-76-0311	0827-76-0863
美　　和	市民福祉課　福祉班	740-1231	岩国市美和町生見　12126　岩国市美和総合支所	0827-96-1113	0827-96-1712
光　　市	福祉保健部　福祉総務課　福祉総務係	743-0011	光市光井　2-2-1　あいぱーく光	0833-74-3000	0833-74-3070
長　門　市	市民福祉部　福祉課　福祉係	759-4192	長門市東深川　1339-2	0837-23-1245	0837-23-2061
日　　置	総合窓口課　健康福祉係	759-4401	長門市日置上　5926　長門市日置総合支所	0837-37-2111	0837-37-2567
三　　隅	総合窓口課　健康福祉係	759-3802	長門市三隅中　1525　長門市三隅総合支所	0837-43-0221	0837-42-0555
油　　谷	総合窓口課　健康福祉係	759-4503	長門市油谷新別名　964　長門市油谷総合支所	0837-32-1111	0837-32-2778
柳　井　市	健康福祉部　社会福祉課	742-8714	柳井市南町　1-10-2	0820-22-2111	0820-23-7566
美　祢　市	市民福祉部　地域福祉課　地域福祉係	759-2292	美祢市大嶺町東分　326-1	0837-52-5228	0837-52-1490
周　南　市	福祉医療部　地域福祉課	745-0032	周南市銀座　2－13	0834-22-8465	0834-22-8396
新　南　陽	健康福祉課	746-0034	周南市富田　1-1-1　周南市新南陽総合支所	0834-61-4113	0834-61-4242
熊　　毛	市民福祉課	745-0663	周南市熊毛中央町　1-1　周南市熊毛総合支所	0833-92-0012	0833-92-0004
鹿　　野	市民福祉課	745-0302	周南市大字鹿野上　3277　周南市鹿野総合支所	0834-68-2332	0834-68-2104
山陽小野田市	福祉部　社会福祉課　地域福祉係	756-8601	山陽小野田市日の出　1-1-1	0836-82-1174	0836-81-5695
東　　部	柳井健康福祉センター　総務課	742-0032	柳井市古開作中東条　658-1	0820-22-3631	0820-22-7286
周防大島町(旧橘町)	健康福祉部　福祉課	742-2806	周防大島町大字西安下庄　3920-21	0820-77-5505	0820-77-5111
和　木　町	社会福祉協議会	740-0061	和木町和木　2-15-22	0827-52-8644	0827-53-2822
上　関　町	保健福祉課　社会福祉係	742-1402	上関町大字長島　583-1	0820-62-0184	0820-62-1541
田布施町	町民福祉課　福祉係	742-1592	田布施町大字下田布施　3440-1	0820-52-5810	0820-52-5967
平　生　町	町民福祉課　地域福祉班	742-1195	平生町大字平生町　210-1	0820-56-7113	0820-56-5603
阿　武　町	社会福祉協議会	759-3622	阿武町大字奈古　3081-5	08388-2-2615	08388-2-3615

救 急 法 等 講 習 実 施 状 況

平成30年3月31日現在

区分 / 開催地	救急法			水上安全法			雪上安全法		健康生活支援講習		幼児安全法		家庭あんま術	合　計
	基礎	救急員養成	短期	養成Ⅰ	養成Ⅱ	短期	養成Ⅰ	養成Ⅱ	支援員養成	短期	支援員養成	短期		
下　関　市	2	1	20											23
宇　部　市	1	1	21									1		24
山　口　市	9	7	61	1		2			1	16	1	12	1	111
萩　　市		1	13											14
防　府　市	2	1	12			1						1	1	18
下　松　市			17											17
岩　国　市	2	1	88			36				1		1		129
光　　市			5									2		7
長　門　市			3											3
柳　井　市			12			4								16
美　祢　市			5											5
周　南　市	1	1	22			1					1	2		28
山陽小野田市	4	1	26		1				2			2	2	38
周防大島町			10											10
和　木　町			2											2
上　関　町			0											0
田布施町			0											0
平　生　町			2									2		4
阿　武　町			1											1
計	21	14	320	1	1	44	0	0	3	17	2	23	4	450
受講人数	331	220	12,181	16	19	1,746	0	0	40	428	18	620	70	15,689

山口県赤十字奉仕団一覧表

平成30年3月31日現在

1　地域奉仕団

連 番	奉仕団名	分団数	団員数	結成年月日	連 番	奉仕団名	分団数	団員数	結成年月日
1	下関市赤十字奉仕団	6	607	S50. 6.11	24	岩国市本郷町赤十字奉仕団	1	60	H 8. 4. 1
2	下関市菊川赤十字奉仕団	3	86	S57. 5. 1	25	岩国市周東町赤十字奉仕団	21	180	H 4. 9. 8
3	下関市豊田赤十字奉仕団	5	56	H 2. 5. 2	26	岩国市美川町赤十字奉仕団	25	80	H 7. 9. 1
4	下関市豊北赤十字奉仕団	9	750	H 2. 3.30	27	岩国市美和町赤十字奉仕団	5	73	H 9. 1.31
5	宇部市赤十字奉仕団	13	332	H21. 5.15	28	光市赤十字奉仕団	3	100	S55. 4.28
6	山口市赤十字奉仕団	8	300	S32. 9.20	29	長門市赤十字奉仕団	2	182	S57. 4. 1
7	山口市徳地赤十字奉仕団	3	151	S62. 7.10	30	長門市三隅赤十字奉仕団	1	17	H 9. 2.17
8	山口市小郡赤十字奉仕団	13	135	S62. 4. 1	31	長門市日置赤十字奉仕団	1	133	H 7.11.20
9	山口市阿知須赤十字奉仕団	1	150	H21. 5.26	32	長門市油谷赤十字奉仕団	2	204	S56. 4. 1
10	山口市阿東赤十字奉仕団	4	380	H 6. 5. 1	33	柳井市赤十字奉仕団	10	483	S29.10. 1
11	萩市赤十字奉仕団	8	202	S43. 8.23	34	美祢市赤十字奉仕団	8	200	S48. 9. 1
12	萩市川上赤十字奉仕団	1	18	H 9. 9. 1	35	周南市徳山赤十字奉仕団	3	190	S39.10.10
13	萩市江崎赤十字奉仕団	3	95	H 9.10.20	36	周南市熊毛赤十字奉仕団	1	130	H 9. 5. 1
14	萩市小川赤十字奉仕団	3	8	H 9.10.20	37	周南市鹿野赤十字奉仕団	1	110	H 3. 4. 1
15	萩市むつみ赤十字奉仕団	2	70	H 8. 4. 1	38	山陽小野田市赤十字奉仕団	4	710	S35. 4. 1
16	萩市須佐須佐赤十字奉仕団	23	110	H 7. 4. 4	39	周防大島町赤十字奉仕団	1	67	S32. 4. 1
17	萩市旭赤十字奉仕団	2	176	S55. 9. 1	40	和木町赤十字奉仕団	8	179	H 7. 9. 1
18	萩市福栄赤十字奉仕団	2	24	H 9. 4. 1	41	上関町赤十字奉仕団	6	630	S63. 9. 1
19	防府市赤十字奉仕団	9	352	S36. 4.13	42	田布施町赤十字奉仕団	5	700	S63. 9. 1
20	下松市赤十字奉仕団	5	525	S32. 4. 1	43	平生町赤十字奉仕団	4	771	S63. 9. 1
21	岩国市赤十字奉仕団	3	461	S56. 2. 1	44	阿武町赤十字奉仕団	3	495	H 7. 7.27
22	岩国市由宇町赤十字奉仕団	1	125	S53. 8. 3	計	４４団	243	10,994	
23	岩国市玖珂町赤十字奉仕団	1	187	H 7. 4. 1					

平成30年3月31日現在

2　青年奉仕団

連番	奉仕団名	分団数	団員数	結成年月日
1	宇部青年赤十字奉仕団	1	11	S39. 4. 1
2	山口大学学生赤十字奉仕団	1	20	S47. 6.22
3	山口県立大学学生赤十字奉仕団	1	18	H29. 2.15
	計	3	49	

3　特殊奉仕団

連番	奉仕団名	分団数	団員数	結成年月日
1	山口県赤十字安全奉仕団	4	155	S60. 4. 5
2	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団	9	94	H 2. 3.25
3	山口県青少年赤十字賛助奉仕団	1	72	H15. 6.10
4	岩国赤十字災害救護奉仕団	1	31	H15. 7.22
5	山口県赤十字防災奉仕団	1	44	H18. 4.22
	計	16	396	

山口県青少年赤十字加盟校(園)一覧表

1. 保育園

平成30年3月末現在

連番	保育園名
1	清　　華
2	ひ ろ せ
計	2園

2. 幼稚園

連番	幼稚園名	連番	幼稚園名
1	岩 国 南	10	大　　内
2	宮　　野	11	秋　　穂
3	吉　　敷	12	山口県鴻城高等学校付属
4	平　　川	13	阿 知 須
5	名 田 島	14	野田学園
6	二　　島	15	藤村学園旭
7	鋳 銭 司	16	亀　　山
8	仁　　保	計	16園
9	小　　鯖		

3. 小学校

連番	小学校名		連番	小学校名	
1	岩国市立	小　　瀬	38	周南市立	菊　　川
2		御　　庄	39		岐　　山
3		藤　　河	40		秋　　月
4		杭　　名	41		鼓　　南
5		河　　内	42		富 田 東
6		通　　津	43		福　　川
7		岩　　国	44		大 河 内
8		装　　港	45	山口市立	大　　殿
9		愛　　宕	46		湯　　田
10		由　　西	47		良　　城
11		そ　　お	48		平　　川
12		川　　上	49		嘉　　川
13		米　　川	50		興　　進
14		修　　成	51		佐　　山
15		周　　北	52		仁　　保
16		美 和 東	53		小　　郡
17		美 和 西	54		柚 野 木
18	和木町立	和　　木	55		生　　雲
19	柳井市立	日　　積	56	防府市立	勝　　間
20	田布施町立	城　　南	57		右　　田
21	平生町立	佐　　賀	58		新　　田
22	下松市立	下　　松	59	美祢市立	重　　安
23		久　　保	60		豊 田 前
24		公　　集	61		秋　　吉
25		豊　　井	62		嘉　　万
26		花　　岡	63		別　　府
27		中　　村	64	下関市立	名　　池
28		米　　川	65		関　　西
29		東　　陽	66		清　　末
30	光市立	室　　積	67		山 の 田
31		島　　田	68	長門市立	浅　　田
32		浅　　江			
33		光　　井			
34		周　　防			
35		塩　　田			
36		三　　輪	計	68校	
37		岩　　田			

山口県青少年赤十字加盟校(園)一覧表

4. 中学校

連番	中学校名		連番	中学校名	
1	岩国市立	岩　　国	17	美祢市立	厚　　保
2		川　　下	18		於　　福
3		灘	19		豊 田 前
4	和木町立	和　　木	20		秋　　芳
5	柳井市立	柳　　井	21	下関市立	菊　　川
6		大　　畠	22		豊　　北
7	周南市立	福　　川	23	萩市立	越 ヶ 浜
8	山口市立	大　　殿	24		須　　佐
9		白　　石	25		旭
10		湯　　田	26	長門市立	三　　隅
11		鴻　　南	27		菱　　海
12		平　　川	28	阿武町立	阿　　武
13		小　　郡			
14	防府市立	国　　府			
15		小　　野	計	28校	
16	宇部市立	黒　　石			

5. 高等学校

連番	高等学校名	連番	高等学校名
1	岩国総合	22	山口県鴻城
2	高　　森	23	萩
3	熊 毛 南	24	萩 商 工
4	光	25	宇部中央
5	光　　丘	26	宇 部 西
6	聖　　光	27	宇部商業
7	華　　陵	28	宇部工業
8	下松工業	29	宇部鴻城
9	徳　　山	30	宇部フロンティア大学付属香川
10	徳山高等学校鹿野分校	31	小 野 田
11	新 南 陽	32	小野田工業
12	徳山商工	33	豊　　浦
13	南陽工業	34	長　　府
14	防　　府	35	下 関 西
15	防 府 西	36	下 関 南
16	防府商工	37	下関中央工業
17	高川学園	38	響
18	山　　口	39	下関商業
19	山口中央		
20	西　　京	計	39校
21	中村女子		

6. 特別支援学校

連番	総合支援学校名
1	山口南総合
計	1校

日本赤十字社山口県支部現勢（平成２９年度）

・ **赤十字基本原則**　人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

・ **役　員**（Ｈ３０．３末現在）

支部長	村　岡　嗣　政
副支部長	藤　部　秀　則
副支部長	福　田　良　彦
監査委員	石　津　敏　樹
監査委員	山　縣　　始
本社理事	中　山　光　江
本社代議員	中　山　光　江
	林　　登季子
	原　　昌　克
	西　川　公　博
評議員	２９人

・ **会　員**　（Ｈ３０．３末現在）

個　人	５５２人
法　人	１，５３０法人

・ **赤十字奉仕団**

団　数	５２団
団員数	１１，４３９人

・ **青少年赤十字**

加盟校（園）数	１８園１３６校
メンバー数	２５，５３７人

・ **救護・救援**

常備救護班	８班
救護要員総数	３９８人
救急車	４台
通信指令車	１台
災害救援車	４台
無線基地局	３局
無線移動局	５５局
ＮＢＣ除染セット	１セット
テント（パイプ組立式）	２１張
エアーテント	１張
救援用毛布	１，５９０枚
緊急セット	１，２００個
安眠セット	１９５個

・ **養　成**

看護師養成数（累計）	３，３６６人
救急法指導員	１７８人
水上安全法指導員	２６人
幼児安全法指導員	７９人
健康生活支援講習指導員	３２人

・ **国際活動資金援助**

アジア・大洋州給水支援事業	７６．４万円

・ **医　療**

病　院	２施設
病床数	６０７床
患者延数	
外来	１９０，６４２人
（１日平均）	７８４．５人
入院	１７４，０９６人
（１日平均）	４７７．０人

・ **老人保健施設**

小野田赤十字老人保健施設	
入所定員	１００人
通所定員	３０人

・ **血　液**

血液センター	１施設
出張所	２施設
移動採血車	４台
血液運搬車	１９台
献血者数	４８，１２９人
成分献血	８，５７０人
400mℓ献血	３８，９８４人
200mℓ献血	５７５人
供給数　血液製剤	１８１，２９５本

・ **職　員**（正職員）

支　部	１１人
山口赤十字病院	７０３人
小野田赤十字病院	１５７人
老人保健施設	４７人
血液センター	６１人
計	９７９人

・ **山口県日赤紺綬有功会**

会員数	６３人

平成29年度　活動資金募集進展状況表

平成29年4月1日～平成30年3月31日

地区名	一般社資 目標額 千円	一般社資 実績額 円	一般社資 達成率 %	法人社資 目標額 千円	法人社資 実績額 円	法人社資 達成率 %	合計 目標額 千円	合計 実績額 円	合計 達成率 %
下関市	38,540	29,508,679	76.6	3,449	3,096,213	89.8	41,989	32,604,892	77.7
宇部市	24,220	22,411,196	92.5	1,971	1,393,000	70.7	26,191	23,804,196	90.9
山口市	29,000	22,107,010	76.2	2,511	2,351,600	93.7	31,511	24,458,610	77.6
萩・阿武	7,180	5,122,904	71.3	554	443,000	80.0	7,734	5,565,904	72.0
防府市	15,960	14,433,405	90.4	1,494	930,000	62.2	17,454	15,363,405	88.0
下松市	7,980	6,819,650	85.5	754	702,500	93.2	8,734	7,522,150	86.1
岩国市	19,600	14,924,750	76.1	1,496	1,266,000	84.6	21,096	16,190,750	76.7
光市	7,040	8,627,300	122.5	1,028	515,000	50.1	8,068	9,142,300	113.3
長門市	4,840	5,335,320	110.2	328	458,010	139.6	5,168	5,793,330	112.1
柳井市	4,760	5,261,010	110.5	387	472,000	122.0	5,147	5,733,010	111.4
美祢市	3,340	4,262,800	127.6	317	278,000	87.7	3,657	4,540,800	124.2
周南市	20,760	14,564,117	70.2	2,349	1,553,500	66.1	23,109	16,117,617	69.7
山陽小野田市	8,620	7,517,624	87.2	864	622,000	72.0	9,484	8,139,624	85.8
地区計	191,840	160,895,765	83.9	17,502	14,080,823	80.5	209,342	174,976,588	83.6
周防大島町	2,640	3,613,800	136.9	155	0	0.0	2,795	3,613,800	129.3
和木町	840	906,100	107.9	42	88,000	209.5	882	994,100	112.7
上関町	460	487,000	105.9	41	25,000	61.0	501	512,000	102.2
田布施町	2,060	2,434,950	118.2	122	82,000	67.2	2,182	2,516,950	115.4
平生町	1,660	1,846,500	111.2	104	11,000	10.6	1,764	1,857,500	105.3
東部	7,660	9,288,350	121.3	464	206,000	44.4	8,124	9,494,350	116.9
阿武町	500	737,300	147.5	34	11,000	32.4	534	748,300	140.1
分区計	8,160	10,025,650	122.9	498	217,000	43.6	8,658	10,242,650	118.3
支部	5,000	9,625,636	192.5	2,000	1,979,605	99.0	7,000	11,605,241	165.8
合　計	205,000	180,547,051	88.1	20,000	16,277,428	81.4	225,000	196,824,479	87.5
いのちを守る赤十字会員会費（再掲）	－	124,000	－	－	0	－	－	124,000	－

日本赤十字社山口県支部組織図



